

鈴鹿市上下水道局宿日直等業務及び量水器取替業務委託公募型プロポーザル方式に係る受託候補者選定基準

この基準は、公募型プロポーザル方式により、鈴鹿市上下水道局宿日直等業務及び量水器取替業務委託の受託候補者を選定するために、参加事業者から提出された業務提案書及び提案見積書の内容を、客観的に評価するための基準として示すものです。

1 評価基準

項目ごとの配点は、次の表のとおり。

提案書等の評価基準表（合計 200 点満点）

評価項目		配点	小計	
実施体制	会社の内容に関する事項	① 財務状況及び経営事項審査	10	100
	業務実績	② 修繕に関する工事实績	20	
	業務体制	③ 技術者等と重機等の数	15	
		④ 業務体制及び業務執行計画について	10	
		⑤ 人員配置と兼務者等	15	
		⑥ 総括責任者について	10	
		⑦ バックアップ体制について	20	
業務実施計画	各業務に対する提案	⑧ 宿日直業務に対する考え方	10	60
		⑨ 待機業務に対する考え方	10	
		⑩ 緊急関連修繕業務に対する考え方	20	
		⑪ その他の業務提案	20	
価格	提案見積	⑫ 宿日直等業務委託見積金額	40	40
合 計				200

2 審査方法

提案書等に記載された内容及びヒアリング内容について、各委員が評価項目ごとに評価します。

(1) 評価項目の得点化方法

評価項目①から⑩までの各項目について、次に示す6段階評価による得点化方法により得点を付与します。

	A	B	C	D	E	F
評価	優秀である	満足できる	平均的である	物足りなさを感じる	満足できない	評価の対象外
係数	1.0	0.8	0.6	0.4	0.2	0

得点 = 配点 × 評価に対応する係数

(2) 提案見積額の得点化方法

評価項目⑫については、次の算式により得点化します。

得点 = 配点 × (最も低い見積金額 / 当該事業者の見積金額)

3 評価の着眼点

評価は主に、業務に対する理解度や意欲、技術力、経験や業務提案書の有効性、独創力、実施手順の妥当性、人員配置の妥当性、提案内容の根拠等を基準に評価します。また、共同企業体を結成しての参加、あるいは協力会社の参加などについても総合力の向上という観点から評価します。

さらには、緊急修繕体制の強化や水道事業サービスの向上のために優れた提案がなされているかについても併せて評価します。

各項目の作成において、審査ポイントとなる点を次に記します。

① 会社の内容に関する事項 (配点：10点)

会社概要、経営状況を総合的に判断し、将来にわたり安定して業務を行い得る経営基盤があるかということ、「様式第4号 財務等状況書」を参考に評価します。

② 修繕に関する工事实績 (配点：20点)

過去5年間の修繕の件数や修繕内容などから豊富な実績や経験の有無をもとに修繕業務の現場対応力等について、「様式第20号 修繕に関する工事实績表」を参考に評価します。

③ 技術者等と重機等の数 (配点：15点)

現場代理人及び主任技術者の雇用数や修繕業務への専従者数、所有する重機、小機器の充実度をもとに修繕業務の基礎的な技術力、完成能力等について、「様式第21号」を参考に評価します。

④ 業務体制及び業務執行計画について（配点：10点）

業務全体をスムーズに遂行させるためには、それぞれの業務の正確な執行と併せて各業務間の連携が不可欠となります。そのための体制作りや、それを実行するための執行計画について次の点を中心に提案書を基に評価します。

- ア 業務間の連携についてどのような体制となっているか。
- イ 指揮命令系統、管理、責任体制がどうなっているか。
- ウ 各業務に欠員が生じた場合の適切な対応策があるのか。
- エ 上下水道局との意思疎通をどのように図ろうとしているのか。
- オ 業務体制や執行計画に具体性や実効性があるか。

⑤ 人員配置と兼務者等（配点：15点）

業務を遂行するために必要な人員の配置について、兼務をしながら自社だけで行おうとするのか、協力会社等や外部委託を考えているのかなど、無理のない配置計画になっていないか、「様式第22号 人員配置と兼務者等」と併せて提案書を基に評価します。

⑥ 総括責任者について（配点：10点）

総括責任者は、業務全般の履行及び運営管理等を統括するために配置を求めています。どのような実績がある者を選任しようとしているのか、また業務に対しての専従の有無、また会社での立場などから、この者に対する会社の期待度等について、「様式第23号 総括責任者について」と併せて提案書を基に評価します。

⑦ バックアップ体制について（配点：20点）

共同企業体や協力会社等の仕組み等を活用し複数で業務に当たる、又は単独参加の場合においての対応策など、緊急修繕体制の強化と安定性の向上のためのバックアップ体制についてどのように考えているか提案を求めます。

⑧ 宿日直業務に対する考え方（配点：10点）

- ア 宿日直業務にどのような人材（経験、知識）を配置するのか。
- イ 勤務サイクルについてどのように考えているか。
- ウ 受電に際しての「丁寧に」とは、どのようなことを指すと考えているか。
- エ 当該業務の改善または効率化に対して、どのような優れた提案があるのか。

⑨ 待機業務に対する考え方（配点：10点）

- ア 待機者の勤務サイクルについてどのように考えているか。
- イ 当該業務の改善または効率化に対して、どのような優れた提案があるのか。

⑩ 緊急関連修繕業務に対する考え方（配点：20点）

- ア 平日（水道局の営業日）の関連修繕業務の体制はどのように行うのか。
- イ 平日以外の関連修繕業務の体制はどのように行うのか。
- ウ 関連修繕業務や緊急取替業務が同時に複数となった場合、どのように対応するのか。
- エ 関連修繕業務全体を統括する者は配置されているか。また、どのような能力及び立場の者を配置しようとするか。
- オ 不断水工法等、技能の習得にどのように取り組んでいこうとしているのか。
- カ 配管資材の備蓄をどのように取り組んでいこうとしているのか。
- キ 当該業務の改善または効率化に対し、どのような優れた提案があるか。

⑪ その他の業務提案（配点：20点）

- ア 業務の効率化、関連修繕業務の持続可能な仕組み作りや、水道業者としてのかかわり方、他の修繕への取り組みなど。
- イ 二次側修繕についての対応。また、関連修繕業務、緊急取替業務による二次側漏水についての対応。

⑫ 宿日直等業務委託見積金額（配点：40点）

提案見積書に記載された金額に応じて、先に示した得点化方法により得点を付与する。